

[成果情報名] 新たに登録されるカンキツ「興津51号」の果実特性

[要約] 「興津51号」は露地栽培では 1月中旬が熟期で、風味がよく食味良好な新しい系統である。
はく皮は容易で芳香が強く、浮き皮は発生しない。

[キーワード] 果皮、はく皮、芳香、浮き皮

[担当] 長崎果試・常緑果樹科

[連絡先] 0957-55-8740 電子メールjiro@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 果樹

[分類] 指導

[背景・ねらい]

独立行政法人農業技術研究機構果樹研究所で育成されたカンキツ新系統「興津51号」の果実形質を調査し、本県への適応性を明らかにする。

新系統の来歴

系 統 名	交配組み合わせ
興 津51号	(清 見 × ウィルキングマンダリン)

[成果の内容・特徴]

- 1．果実重は 200 g 程度で、果形指数130～140の果実である（表1）。
- 2．果皮は橙色で薄く、剥皮性はよい。浮き皮果の発生は全くなくしまった果実である（表1）。はく皮時には強い芳香がある。
- 3．果肉の硬さ、じょうのう膜の厚さは中程度で、種子は 5個程度入る（表2）。
- 4．露地栽培では、1月中旬で糖度12～13、酸含量は1.0g/100□程度で風味がよい。施設栽培で土壌を乾燥気味に栽培すると(2002年)、じょうのう膜が薄くなる（表2）。
- 5．樹勢は中程度であるが、葉が小さく密生する。
- 6．かいよう病にはやや弱い。

[成果の活用面・留意点]

- 1．平成16年度に命名登録される予定である。
- 2．着花はよく隔年結果性は少ないが、着果過多や土壌乾燥が著しいと、翌年の新しょうが弱く小葉化しやすいため、適性着果に心がける。

[具体的データ]

年次別開花日 (月・日)

2000年 (無加温:5. 5)

2001年 (露地:5.10、無加温:5. 2)

2002年 (露地:5. 5、無加温:4.25)

2003年 (露地:5. 5)

表1 「興津51号」の果実及び果皮の特性

栽培法	年度	調査 月日	果形 指数	1 果 平均重 (g)	果			皮			
					果皮色	カーチ ャ-ト値 (赤道部)	粗 滑	はく皮 の難易	厚さ (mm)	浮き皮	
露地	2001	12.19	143	222	黄橙	7.0	中	易	1.7	無	
	"	1.21	134	209	"	7.4	"	"	1.6	"	
	"	2.21	134	208	橙	8.6	"	"	1.9	"	
	2002	12.20	141	216	橙	8.4	滑	易	2.5	無	
	"	1.20	142	185	"	8.6	"	"	2.4	"	
	2003	1.28	131	218	橙	9.0	滑	易	2.6	無	
	無加温	2000	12.20	134	156	黄橙	7.0	滑	易	1.7	無
		"	1.19	137	143	橙	8.7	"	"	2.1	"
		"	2.21	135	189	"	8.2	"	"	-	"
2001		12.19	129	310	黄橙	7.5	滑	易	3.2	無	
"		1.21	116	342	橙	8.0	"	"	2.8	"	
2002		12.20	145	159	黄橙	7.0	滑	易	2.1	無	
"		1.20	135	162	"	7.4	"	"	2.2	"	

表2 「興津51号」の果肉の特性及び品質

栽培法	年度	調査 月日	果 肉		さじょう			果 汁			
			果肉 歩合 (%)	じょうのう 膜の厚さ	色	硬さ	種子数 ²	糖度	酸含量	糖酸比	
(g/100□)											
露地	2001	12.19	83.7	中	橙	中	2.6	11.7	0.90	13.0	
	"	1.21	86.0	"	"	"	4.0	11.8	0.93	12.7	
	"	2.21	84.6	"	"	"	2.4	12.3	0.68	18.2	
	2002	12.20	83.8	中	橙	軟	2.2	11.6	1.18	9.8	
	"	1.20	82.6	"	"	"	4.8	12.3	0.98	12.5	
	2003	1.28	83.0	中	橙	軟	4.6	13.9	0.92	15.1	
	無加温	2000	12.20	85.2	厚	橙	中	17.8	10.6	1.74	6.1
		"	1.19	84.9	中	"	"	11.2	10.8	1.22	8.8
		"	2.21	83.6	"	"	"	-	11.8	1.05	11.2
2001		12.19	79.4	厚	橙	中	3.8	10.8	0.88	12.3	
"		1.21	79.1	中	"	"	7.5	10.3	0.67	15.4	
2002		12.20	87.2	薄	橙	軟	10.4	12.3	1.21	10.2	
"		1.20	84.4	"	"	"	9.4	12.6	0.96	13.2	

² 完全種子数

[その他]

研究課題名：有望中晩生カンキツの栽培技術の確立

予算区分：県単

研究期間：1999～2003年度

研究担当者：山下次郎

発表論文等：